

2024-25年度クラブ目標

創立1986年

『思いやりがある 感謝のロータリー』



2024-25年度国際ロータリーテーマ

会長 阿部 克弘
幹事 十文字 光伸

第1853回例会

令和7年5月22日(18:30~19:30)



○ソング

- 四つのテスト

○ビジター

- 白河厚生病院 安田貢医師

○スマイルBOX

- 阿部克弘会員（本日は安田貢先生、卓話有難うございました。）
- 十文字光伸幹事（本日は、白河厚生病院安田貢様卓話ありがとうございました。）
- 金田昇会員（本日はZOOMでの参加です。安田先生卓話ありがとうございました。）
- 鈴木満会員（結婚記念日にお花が届きました、記念の日にきれいな花を添えて下さりありがとうございました。感謝の気持ちをスマイル致します。）
- 永野文雄会員（ゲストの安田貢先生卓話ありがとうございます。関谷亮一パスト会長の双光章叙勲おめでとうございます。）
- 運天直人会員（おかげ様で今日人生レベル52になりました。誕生日のプレゼントありがとうございました。）
- 永山龍太郎会員（本日は、安田先生ありがとうございました。自分も2021年10月に救急車に2回のせていただき命をすくわれました。医療関係者には感謝しかありません。）

【今週の仮メイクアップ会員】

- 5月17日 地区研修 協議会

金田昇、吉野敬之、山縣栄寿、渡部勝也、藤田龍文、大住由香里、鈴木典雄、諸橋和典、堀田一彦、矢田部錦四郎、阿部克弘、運天直人、大竹憂子、鶴丸彰紀

5月22日 ~本日のメニュー~



- ・スナップエンドウと若布のお浸し
- ・味付玉子と大根煮の盛り合わせ
- ・豚バラ肉の竜田揚げ
- ・キャベツの千切り添え
- ・白飯
- ・味噌汁
- ・香の物
- ・柚子シャーベット

▶第1853回例会出席状況

(R7年5月22日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	54名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	19名
Ⓓ 全正会員数	73名
Ⓒ ①の出席者数	24名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	0名
Ⓕ ②の出席者数	8名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	32名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	62
① = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	51.6%

▶例会日: 第1・第3木曜日(12:30) その他の木曜日(18:30~19:30)

▶例会場: 白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局: 〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5(白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間

阿部克弘



皆様、おばんでございます。本日もお忙しい中ご参加をいただきまして、誠にありがとうございます。まず初めに、お客様のご紹介をさせていただきますと思います。「JA福島厚生連白河総合病院」救急治療科部長、安田貢（やすだすすむ）先生でございます。よろしく願いいたします。先生には後程、卓話のほうを頂戴したいと思いますのでどうかよろしくお願いしたいと思います。既に皆さんや新聞等や報道等でご存じかと思うんですが、令和7年の春の叙勲ですね、関谷亮一パスト会長が旭日双光章を受けられました。2014年から白河市の土地改良区の理事長をされ、また2023年からは福島県の土地改良事業団体連合会の副会長をされておりまして、そういうところが評価されて、あとは農業を長年ずっと牽引してきたということが評価されて今回の受賞となった模様でございます。個人的に聞くと、亡くなられた橋本龍太郎元総理大臣と結構親しくされていた時期がございまして、その話を聞くと大変凄い人なんだなという印象を私は持っております。今日はおいでになっておりませんが、後日ご出席の際には皆さんでおめでとうの言葉をかけていただければ幸いに存じます。よろしくお願いしたいと思います。それから、また既にご存じの方もいらっしゃると思うんですが中目パスト会長が、15日の午後、脳梗塞を発症されて厚生病院に緊急搬送をされましたが、迅速な対応が功を奏して2週間ほど入院することにはなりましたが、いたって大丈夫だというようなお話を19日の日に、厚生病院のほうの面会は今家族しかできませんので、奥様のいらっしゃる神社のほうに十文字幹事と伺いまして皆さんからのお見舞いを置いてまいりました。実は私も6年前に40度の高熱を出して、そして血圧が上が80ぐらいしかなくて、泌尿器科のほうに入院をした経緯がございます。その時は喜屋武先生だったんですが、喜屋武先生の奥様が一時期私が会長をしている「県南地区動物愛護ボランティアの会」のメンバーさんで、動物ボランティアのお手伝いをしてもらいましたので、先生も私のことを知っていて、阿部さんすぐ入院しないと駄目だよということになりまして9日間入院しました。私の67年の人生の中

で病院で誕生日を迎えたのがその時が初めてだったんですね。今はコロナ禍でさっきも言ったように面会は家族しか入れないということがありましたけどその当時はまだ知り合いの方も多く来ていただいて、ケーキでお祝いをしてもらった記憶がございます。その時の会長が中目さんで、私の所にお見舞いに来たということがありました。今回は逆の立場になりましたが、病院には直接行けないのでご本人さんとは面会できませんが、奥様のほうに皆様方からおあずかりしたお見舞いを置いてきたという次第でございます。2週間が過ぎればおそらく復帰をされるのか、退院をされてリハビリに務められるのかはわかりませんが出席できるようになれば良いなと思っております。期待をしておりますので、どうか今はゆっくり休んでいただければなと思っております。最後にですね、秋山ジュベルサロさんという第一ホテルのメンバーさんだった方が退職をされて、第一ホテルのメンバーさんが空白の状態だったんですが、今回から服部博幸さんという方が代わりに入るようになりました。入会申込書は、2週ボードに掲示しておきますので、皆さんご覧になっていたければというふうに思います。今日は安田先生が皆さんのためになる話が聞けるといいますので、会長の時間は以上とさせていただきます。本日もどうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

■幹事報告

十文字光伸幹事

○(株)コンピューターエンゼルス：事務局システムのご案内

○2024-26年度国際ロータリー理事 水野功：クラブ



サポートミーティング開催にむけて

○日本事務局 | クラブ・地区支援室：第4回クラブ・地区支援室メッセージ

○国際大会推進委員 ガバナーエレクト 泉田征慶：カルガリー国際大会

の最終案内

○白河市国際交流協会会長 内藤義久：「高校生海外派遣事業」チラシの送付について

○泉田ガバナーエレクト事務所：2025-26年度欲組組織図および地区行事予定表について

●次年度幹事

運天直人会員

皆さん、こんばんは。昨日は第2回目のクラブ協議

会のご参加ありがとうございました。その際に「シン鹿島」で行われまして会費をいただいたんですが、当日領収書発行までちょっと手間取りましたので、後日発行していただくようしております。皆様のほうにはブリーフケースの中に入れてさせていただきますので、ご承知おきの程よろしくお願いいたします。

■本日のプログラム

●ゲスト卓話

吉野敬之会員

皆さん、こんばんは。それでは、本日卓話を頂戴します安田貢先生のご紹介をさせていただきたいと思えます。安田貢先生は私と同級生でございます。安田貢先生は私と同級生でございます。同じ高校を卒業してんですが、何故か全然違った学力が備わりまして、安田先生はこちらにも書いてありますように筑波大学のほうの医学部のほうに入られて、略歴とか、非常に多いのでこれは後で目を通していただければと思いますけども、去年の4月から白河に戻られてその前から白河に来られて、私はてっきり初めてお会いした時に開業するのというふうなお話をしたんですね。そしたら、安田君が言った一言が私はちょっと衝撃を受けたんですけど、「いや、生まれ育った故郷のために最後の力を尽くしたい」。僕の口からはどう考えても出てこない言葉を聞いて、いや凄い奴だなと正直思って、それから多分安田君、いろいろな所でお話をする機会があるんですけどもその熱意が伝わって、いろんな方からご支援を頂戴してる状態です。安田君が言ってたのは、自分は白河の医療を発展させるためのやり方はわかってる。けど、白河という元々は生まれ育った場所ですけども、全然知古のいないような地域でこれからそれをやっていくための仲間が欲しいということでしたので、お忙しい中無理を言っこのロータリーの方々が是非そういうバックアップしてくれる仲間の一人になっていただければいいな、お互いにウインウインになるなというふうなことを思って、今日はお忙しい中卓話を頂戴いたしました。私の話はがさつになってしまうので、貴重な安田先生のお話をこれから皆さんによく聞いていただいといます。それでは、安田先生よろしくお願いいたします。



●「JA福島厚生連 白河厚生総合病院」

救急治療科部長

安田貢様

今、大変丁寧な紹介を吉野社長からいただきました。「白河厚生総合病院」の安田と申します。今日はこ



ういう貴重な機会をいただきまして、阿部会長さんはじめ関係者の皆様に本当に感謝いたします。どうもありがとうございます。自己紹介をハンドアウトにまとめました、高校からしか書いてないんですが、幼稚園は

道場小路の白河カトリック幼稚園でございまして、小学校は白河第二小学校、中学校は白河第二中学校でございますけれども、帰ってきてびっくりしたのは私が二中に通ってた当時は中央中にスポーツ面でもどうしても勝てなくて、わたくしバスケット部だったんですけど。悔しいなと思っていたのが、今は人数が二中のほうが多いと聞きまして。いやあ、もう42年ぶりに戻ってきたんですけど時の流れを感じました。白河高校から筑波大学、今は悠仁様が入学しまして、学長以下病気になった時にはどこで診ようかというので、大学病院長もかなりびびってる状態でございます。なんか先日見かけたのが中華料理屋に行って記念写真撮ろうとした人がSPに止められたというふうな話が伝わってきてるとか、たまに話題に出る筑波大学でございます。その後、脳外科をやったんですけども、茨城県の医療過疎地域の北のほうに転院することになって救急の世界に入ってしまったと。消防とのコラボレーションをしていったというふうなことでございます。本当に皆様方のご配慮で時間をいただきましたので、ゆっくりお話をさせていただこうかと思っております。

福島県南地域の

救急・災害医療の現状と未来

ードクターヘリ、ドクターカーの現場からー



JA福島厚生連
白河厚生総合病院
救急治療科
福島県立医科大学
地域医療支援センター
安田 貢

白河西ロータリークラブ（東京第一ホテル新白河、22.May 2025.）

身近なところに危機が・・・

消防機関における救急業務
⇒軽症者の救急車利用で
直近に救急車がいない

救急者消防庁HPより

年度	緊急出動件数 (万件)	救急搬送人員 (人)
H20	510	468
H21	505	475
H22	525	495
H23	545	515
H24	555	525
H25	565	535
H26	575	545
H27	585	555
H28	595	565
H29	615	585
H30	635	605
令和元	635	595
令和2	595	545
令和3	615	565
令和4	723	622

*速報値

2) 救急車ホットラインの運用（病着時間短縮）

2024年11月末～

代表電話
電話交換

外來や
事務部門

ER部門

改 革
昭和から平成へ

代表電話
電話交換

外來や
事務部門

ER部門

3-1) 緊急教育の充実 (市民への出前講座)



3-2) 緊急教育の充実 (専門資格取得、実技中心)



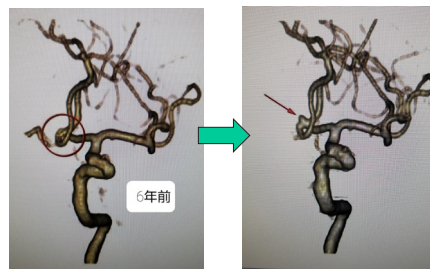
4) 緊急医療の拠点整備 (新白河ラボの建設) 2024年6月～



7) 救急専門の診療科開設・2025年1月～



8) 予防医学の強化～病氣(脳卒中)になる前に ⇒脳ドック(健診)を2024年7月から担当 (10ヶ月で無症候性脳腫瘍11名、未破裂脳動脈瘤10名)



技術・知識・熱意 福島県南の未来を担う若者へ 県南の(緊急)医療はまだ伸びしろが...



5) 緊急対応環境整備・自治体へのAED寄贈



2024年 白河市へバイリンガルAED寄贈

病院到着を待っている救えない命がある。
認定NPO法人の年間事業、22年間継続
←2025年度は西郷村へ寄贈予定

6) 次世代医療人育成⇔少子化の時代

茨城高校と教育連携協定締結(2020年2月)



2024年11月
白河厚生総合病院と
白河高等学校の間で
教育連携協定を締結

今後、他校にも
拡大を
魅力ある若者教育へ

